研究大会プログラム

第１日：2026/11/28(土)　於 Ⅱ号館 1F/2F

時間/会場	Ⅱ-201	
09:00-	受付開始	
09:30-09:55	総会	
09:55-10:00	(理事会)	
10:00-10:10	理事長挨拶	
10:10-10:20	開催校挨拶：　池側隆之　関西学院大学総合政策学部学部長	
10:20-11:10	基調講演：　「デジタル社会の境界と情報法制の役割」 日置巴美　弁護士(長島・大野・常松弁護士事務所)	
11:10-12:10	(昼食休憩)	
時間/会場	Ⅱ-101	Ⅱ-102
12:10-13:40	【第1分科会】ロボット法研究会 「新・宇宙法－AI 時代の倫理・法制度・ガバナンスを問う」	【第2分科会】ネット社会法務研究会 「棋譜の要保護性とインターネット配信について」
13:50-15:20	【第3分科会】サイバーセキュリティ法研究会 「セキュリティインシデント報告の在り方と AI 対応」	【第4分科会】情報流通プラットフォーム対処法研究会 「情報流通プラットフォーム対処法の最新動向」
15:30-17:00	【第5分科会】ビジネス法務研究会 「生成 AI への秘密情報の入力と NDA」	【第6分科会】個人情報保護法研究会 「匿名・流動型犯罪グループによる犯罪被害対策のためのスマホ侵入型情報取得(「遠隔解析」)の批判的検証」

※書籍展示：Ⅱ-107　　実行委員控室：Ⅱ-202、203

懇親会参加者は、17:20 の送迎バス出発まで待機

懇親会(18:00-20:00　於 神戸ホテル・フルーツフラワー　要事前申込)　三田駅着 20:40 予定

第2日：2026/11/29(日)　於 Ⅱ号館 1F/2F

時間/会場	Ⅱ-101	Ⅱ-102	Ⅱ-111	Ⅱ-204	Ⅱ-205	Ⅱ-206
	【個別報告 A】 AI 規制・リスクと制度設計 (司会:横田理事)	【個別報告 B】 AI・自動化と人間の意思決定 (司会:成原理事)	【個別報告 C】 個人情報保護とデータガバナンスの再構築 (司会:藤井理事)	【個別報告 D】 デジタル時代の人格・声・アイデンティティ (司会:橘理事)	【個別報告 E】 コンテンツ・メディア・PF の権利設計 (司会:酒井理事)	【個別報告 F】 公共サービスと社会実装 (司会:長島理事)
09:00-	受付開始					
09:30- 09:55	<A1> AI 保険に関する研究動向 (中川裕志)	<B1> AI 時代の会社法ガバナンス－AI による経営判断・監督を見据えて－ (西垣裕太・松尾剛行)	<C1> 情報法制における第三者関与の類型と日 EU 比較―Transparency, Accountability, Auditability, Observability の観点から― (髙橋優季)	<D1> 不祥事に係る実名の拡散と法的責任の成否 (星野豊)	<E1> プラットフォーム時代の著作権法と通信法――米国巨大テックを育てた制度設計 (城所岩生)	<F1> 就労空間の多様化と法的課題― 労働安全衛生法制における「事業場」単位原則の限界 (三浦優歩)
10:00- 10:25	<A2> 日本・EU・中国における最新 AI 規制の比較検討――リスク対応・規制手法・法の域外適用と執行 (寺田麻佑・松尾剛行)	<B2> 職場における心的状態・感情推定技術の法的リスクと統制―本人主体の利用・組織内共有・人事判断の三類型を通じて― (明谷早映子)	<C2> 法的拘束力を有する統計目的規定の変容と比較法分析 (平松優太)	<D2> ネットワーク上の Persona 侵害における財産的損害の帰属― 法益帰属後の損害分属と複数請求の調整 (王孫博)	<E2> オーストラリア SMMA に関する議論動向 (小向太郎)	<F2> 全国消費生活情報ネットワークシステム(PIO-NET)にみられる健康食品による消費者被害の分析 (平林有里子・高橋久仁子)

時間/会場	Ⅱ-101	Ⅱ-102	Ⅱ-111	Ⅱ-204	Ⅱ-205	Ⅱ-206
	【個別報告 A】 AI 規制・リスクと制度設計 （司会：横田理事）	【個別報告 B】 AI・自動化と人間の意思決定 （司会：成原理事）	【個別報告 C】 個人情報保護とデータガバナンスの再構築 （司会：藤井理事）	【個別報告 D】 デジタル時代の人格・声・アイデンティティ （司会：橘理事）	【個別報告 E】 コンテンツ・メディア・PF の権利設計 （司会：酒井理事）	【個別報告 F】 公共サービスと社会実装 （司会：長島理事）
10:30-10:55	<A3> EU AI 法における共同規制の形成―行動規範の策定過程の分析― （実積寿也）	<B3> 令和 8 年改正個人情報保護法の HR テクノロジー、人事労務管理への影響 （安藤翔・松尾剛行）	<C3> 信認義務の視点から捉えた個人情報保護法―英米法的議論の射程と限界 （佃貴弘）	<D3> 声の権利の権利者となるべき者 （小倉秀夫）	<E3> インターネット上の著作権侵害に対する権利行使に伴う諸問題 （齋藤理央）	<F3> EU データ法における新たな規制手法としてのモデル契約条項の役割と発展～日本のデータ法制への示唆も交えて （石川智也）
11:00-11:25	<A4> 「許容できないリスク」を有する AI の日本法における評価 （板倉陽一郎）	<B4> 自動意思決定及び意思決定支援システムに対する規律の射程と本人関与 （神保宏充）	<C4> ガラパゴス化して進化する日本固有の個人情報保護法 （佐藤慶浩）	<D4> VTuber と事務所の権利関係・契約上の問題：日本・台湾の裁判例の比較を中心に （原田伸一朗・李子鋐）	<E4> プラットフォーム依存症に関する訴訟の傾向 （Ruben E. Rodriguez Samudio）	<F4> サイバーセキュリティ法制の解釈に関する試論 （緒方健）
11:30-11:55	<A5> 汎用 AI モデル提供者における弁護士法の特例についての立法提案 （板倉陽一郎・葛山弘輝）	<B5> ブレインテック・ニューロテック時代を見据えた AI の及ぼす認知・心理への影響に関する法政策上の対応 （松尾剛行・中川北斗）	<C5> リスクベースで考える個人データ漏えい等対応の在り方 －報告義務、本人通知義務、代替措置を中心に－ （蔦大輔）	<D5> 死後における人格的利益の法的保護 （利根川愛蓮）	<E5> 「放送プライバシー」の概念化と、視聴履歴規律の再検討 （大平修司）	<F5> PKI を用いたトークン型決済手段の社会実装に向けた法的建付けと役割分担の検討 （永井達也・齋藤恆和・林田淳一郎・高田雄大・神薗雅紀）

時間/会場	Ⅱ-101	Ⅱ-102	Ⅱ-111	Ⅱ-204	Ⅱ-205	Ⅱ-206
	【個別報告 A】 AI 規制・リスクと制度設計 （司会：横田理事）	【個別報告 B】 AI・自動化と人間の意思決定 （司会：成原理事）	【個別報告 C】 個人情報保護とデータガバナンスの再構築 （司会：藤井理事）	【個別報告 D】 デジタル時代の人格・声・アイデンティティ （司会：橘理事）	【個別報告 E】 コンテンツ・メディア・PF の権利設計 （司会：酒井理事）	【個別報告 F】 公共サービスと社会実装 （司会：長島理事）
12:00-12:25	<A6> フィジカル AI リソースの国際的供給をめぐる法制的課題と対応 （片岡弘）	<B6> 「AI エージェントを騙す」次世代型ダークパターンと消費者法―景品表示法の解釈の限界と立法論― （伊藤俊介・松尾剛行）	<C6> 情報プライバシー法理の原型 ― 1935 年社会保障法・穿孔カードシステムと「電気機械式コード」概念 （渡邉大介）	<D6> 音声クローンの法的保護と刑事規制の一考察――民事法上の被侵害利益と刑事法上の保護法益との比較 （日原拓哉）	<E6> 日本の地上デジタル放送における技術規格によるプロミネンスの実現と今後の課題 （久保木準一）	<F6> 災害対応を支える行政 AI・DX の法的規律―令和 8 年熊本地震への対応からみる課題と展望 （寺田麻佑）
12:25-13:20	（昼食休憩）					

時間/会場	Ⅱ-101	Ⅱ-102
13:20-14:50	【第7分科会】インターネット投票分科会 「インターネット投票をめぐる動向（仮）」	【第8分科会】プライバシー法理論研究会 「生成 AI・AI エージェント時代におけるプライバシー・個人情報保護」
15:00-16:30	【第9分科会】個人情報保護法研究会 「医療情報・生体情報」	【第10分科会】ビジネス法務研究会 「AI による故人の再現と情報法」

※書籍展示：Ⅱ-107　　実行委員控室：Ⅱ-202、203